

作業環境測定：測定の方法〔A測定、B測定〕

環境・健康

作業環境測定には、単位作業場所における気中有害物質の平均的な状態を把握するための「A測定」と、作業者が有害物質の発散源とともに移動する場合など、A測定の結果を評価するだけでは作業者の有害物質への大きなばく露を見逃すおそれがあると考えられる作業が存在する場合に、当該単位作業場所について行うA測定を補完するための「B測定」があります。下記表に作業環境測定〔A測定、B測定〕を示しました。

作業環境測定の方法〔A測定、B測定〕

	A測定	B測定
測定の目的	気中有害物質濃度の平均的な状態、濃度分布を統計的に把握するための測定	A測定を補完するための測定 B測定の対象作業 ①移動作業、②間けつ作業 ③近接作業 (A測定だけでは、高濃度のばく露を見落とす恐れのある作業)
測定点、位置	統計処理上無作為(ランダム)に抽出する必要があるため、等間隔(原則として6メートル以下)に測定点を選ぶ	環境気中濃度が最大になると考えられる作業位置
測定時間等	1時間以上(試料採取開始から終了までの時間) 定常的作業時	10分間の継続した時間 環境気中濃度が最も高くなると思われる時間

kes サポート

課 題	kes サポート
作業環境の管理状況の調査	作業環境測定
作業環境への有害物質の発散抑制	局所排気装置等の定期自主検査 排・換気装置の改善・設置
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施
衛生意識の向上	労働衛生教育

本社・関西営業所 TEL:077-548-8251 FAX:077-548-8270

株式会社 近畿エフサイエンス

中部営業所 TEL:059-271-8200 FAX:059-271-8666